

後期高齢者医療制度に怒る道民の会

ニュース No.32

2009年
4月16日

事務局：北海道社保協
電話011-758-2648 FAX011-758-4666

4. 15「年金支給日」全道30数カ所で行った 後期高齢者医療制度廃止しかない

「年金減らされ保険料などの負担増で大変です。 いやでも医療費はかかります。ぜひ廃止して！」



(4.15pm12:30~札幌市中央区南1西3 繁華街で宣伝)

「道民の会」の渡部務代表は「政府与党は、始まって1年たらずに『見直し』を言い出していますが、私たち高齢者が求める抜本の見直しではない。廃止するしかありません」と強調。道民医連の佐藤秀明事務局長は「高齢者の孤独死や治療中断で病気が悪化するなど、いのちが脅かされています。猶予はありません。直ちに廃止に追い込み、命を守りましょう」と訴えました。

「後期高齢者医療制度に怒る道民の会」と年金者組合や社保協などが共同して、全道各地で「後期高齢者医療制度廃止」「最低年金保障の確立」などを求め、全道一斉に宣伝署名行動をおこないました。

札幌では、繁華街でビラや署名付きハガキのポケットトテッシュを配り、道行く市民に署名を呼びかけました。「まだ前期高齢者ですが、署名します」という姉妹や高齢者の夫婦、親子連れが次々と署名に応じました。
(札幌中央区南1西3 池内デパート前)



(札幌北区・麻布ダイエー前の宣伝署名行動)

各地でも反響を呼ぶ 宣伝署名行動でした

「通る人すべてがビラを受け取ってくれ、署名にもドンドン応じてくれる」(札幌北区・麻布ダイエー前)

「いったい誰がこんな制度を考えたの」と怒りをぶつける女性(75才)らが、ときには列をなして1時間で180人の署名。(札幌西区・琴似ダイエー前)

「私たちみたいなもんからばっかりお金とってどうするつもりだ。絶対反対(札幌清田区・西友前)。「献金問題とか、お金のムダに使われていて、本当に必要なところにつかわれていない」「腹が立ってしょうがない」(旭川・買物公園)。などなど高齢者、国民の怒りのボルテージは上がるばかりです。